

数学教育学研究
Vol. 27 (2)
2022年6月発刊

【 論文 】

① 事象の数学化に及ぼす言語の影響

— 概念的相対主義・言語相対論の視座からみた「かけ算・たし算の順序問題」の分析を通して —

pp.1~19

石川雅章（広島大学附属中・高等学校 / 広島大学大学院教育学研究科院生）

② 身体行為と言語の使用によって特徴づけられる数学の授業における考察対象の存在論的様相の変容

— 記号論的視座から見た「平方根の大小と近似値」の中学3年生の授業分析 —

pp.21~31

影山和也（広島大学）

上ヶ谷友佑（広島大学附属福山中・高等学校）

和田信哉（鹿児島大学）

中川裕之（大分大学）

山口武志（鹿児島大学）

③ 「間接証明」の集合体モデル

pp.33~50

上ヶ谷友佑（広島大学附属福山中・高等学校）

袴田綾斗（高知大学）

早田透（鳴門教育大学）